

2025年3月期 中間期決算説明会

— 豊かな暮らし、安心を届ける風になる。 —



東証スタンダード

証券コード：9818

会社概要

社 名 大丸エナウィン株式会社 (証券コード：9818)

代 表 代表取締役社長執行役員 古野 晃

本社所在地 大阪市住之江区緑木1-4-39

設 立 1951年(昭和26年)2月16日

資 本 金 870百万円

従 業 員 数 657名(連結) 481名(単体)

発行済株式数 8,046,500株

株 主 数 1,755名



▲大阪市 本社

※2024年9月末現在

事業内容

生活の基礎となる商材・・・「保安の確保」「安定供給」の徹底

安定した収益基盤・・・継続取引による安定した収益基盤

| | | |
|------------|------------------|--|
| 事業内容、取扱商品等 | リビング事業 | |
| | ぽっぽガス部門 | LPガス（プロパンガス家庭用・業務用・工業用） |
| | エネルギー部門 | LPガス（プロパンガス卸売、ブタンガス）、石油製品（ガソリン、軽油、灯油等）、電力事業（代理店） |
| | 住宅設備部門 | ガス器具、住宅設備機器、空調機器、家電製品、太陽光発電システム、リフォーム |
| | アクア事業 | |
| | アクア部門 | ミネラルウォーターの製造販売等 |
| | 医療・産業ガス事業 | |
| | 在宅医療部 | 在宅医療機器 |
| | 医療ガス部 | 医療ガス、医療機器、医療ガス設備 |
| | 産業ガス・機材部門 | 産業ガス、溶接・溶断機器、溶接材料、産業機器 |

・LPガスの出荷量が増加し、またLPガスの仕入価格に連動する販売単価が上昇したこと等により、増収増益

・連結経営成績

(単位:百万円)

| | | |
|-------|--------|----------|
| 売上高 | 14,839 | + 14.0% |
| 営業利益 | 343 | + 111.0% |
| 経常利益 | 392 | + 86.8% |
| 中間純利益 | 253 | + 140.7% |

・連結財政状態

(単位:百万円)

| | |
|--------|--------|
| 総資産 | 20,881 |
| 純資産 | 14,341 |
| 自己資本比率 | 68.7% |

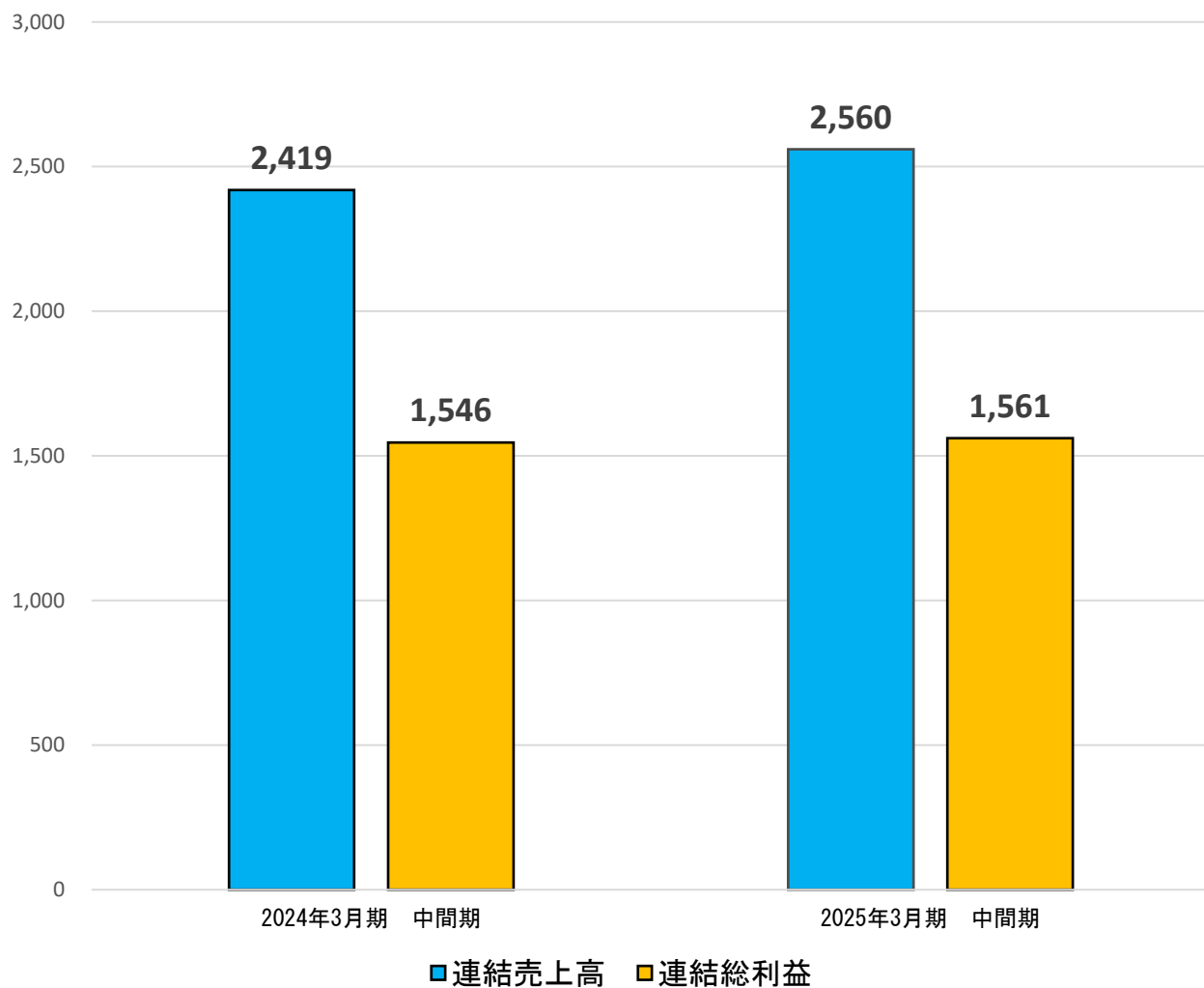
・通期連結業績予想

(単位:百万円)

| | |
|-------|--------|
| 売上高 | 30,000 |
| 営業利益 | 1,300 |
| 経常利益 | 1,380 |
| 当期純利益 | 870 |

部門別状況－ぽっぽガス

(百万円)



<ぽっぽガス>

前期比

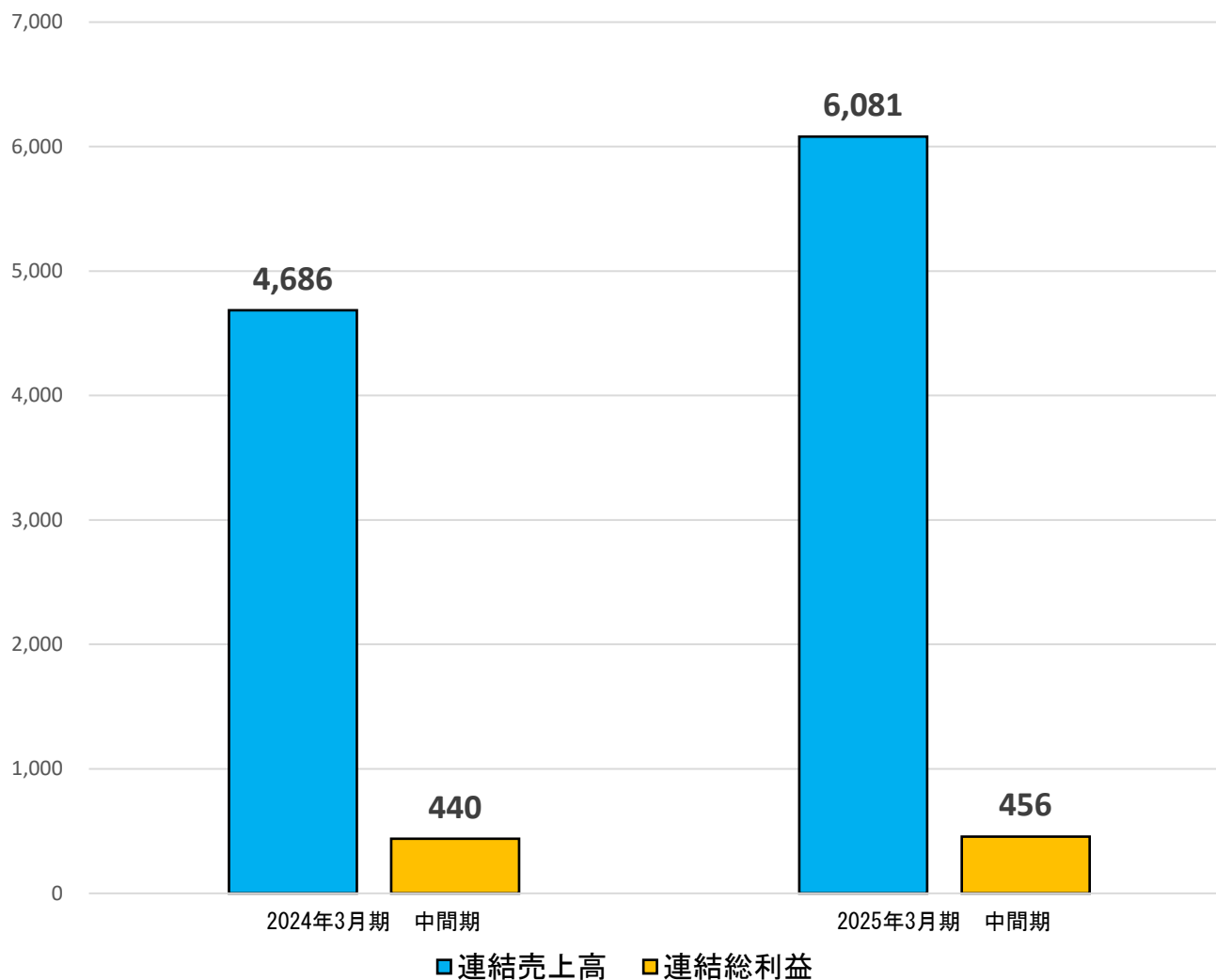
5.8%増収

1.0%増益



部門別状況－エネルギー

(百万円)



<エネルギー>

前期比

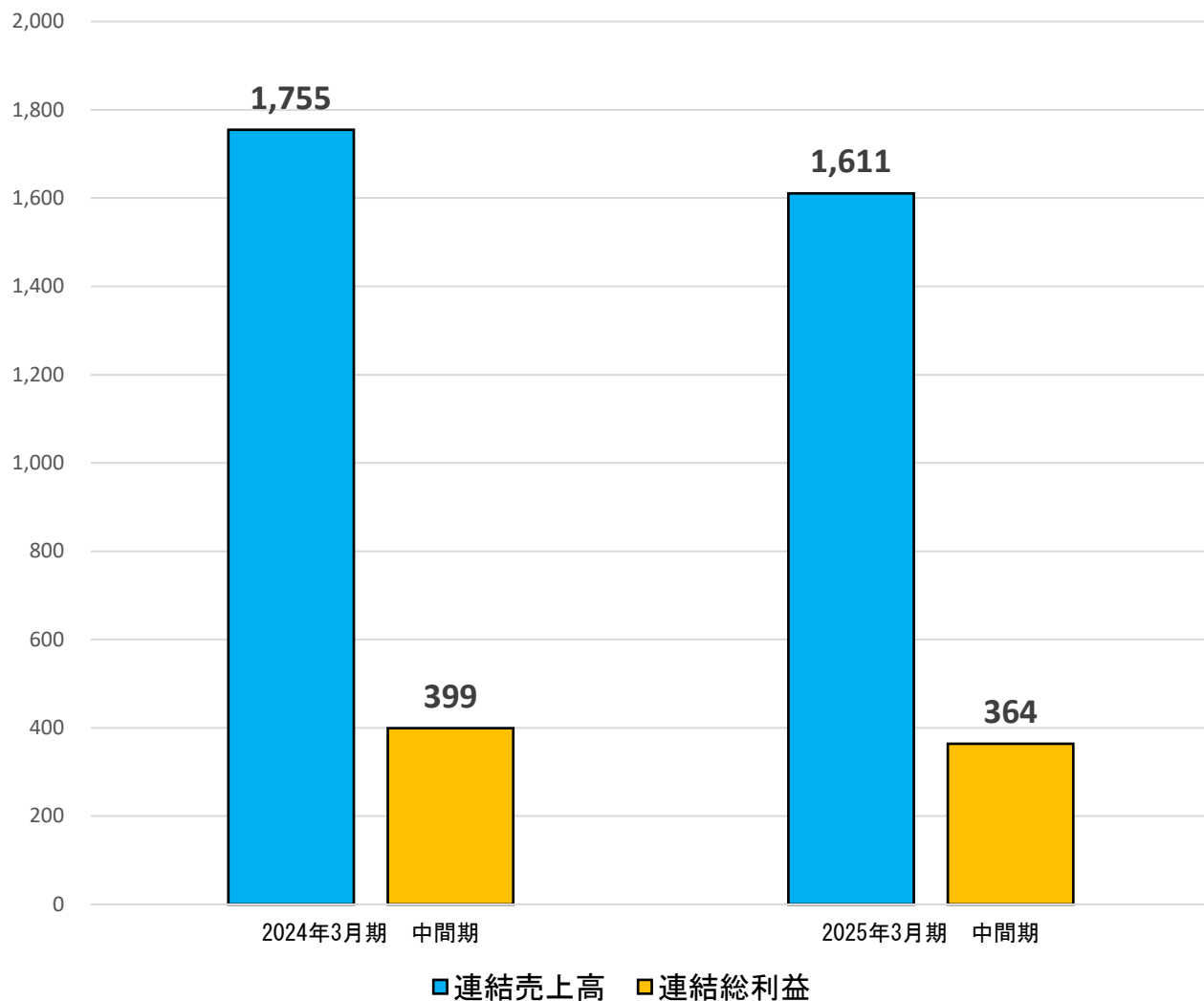
29.8%増収

3.5%増益



部門別状況－住宅設備

(百万円)



<住宅設備>

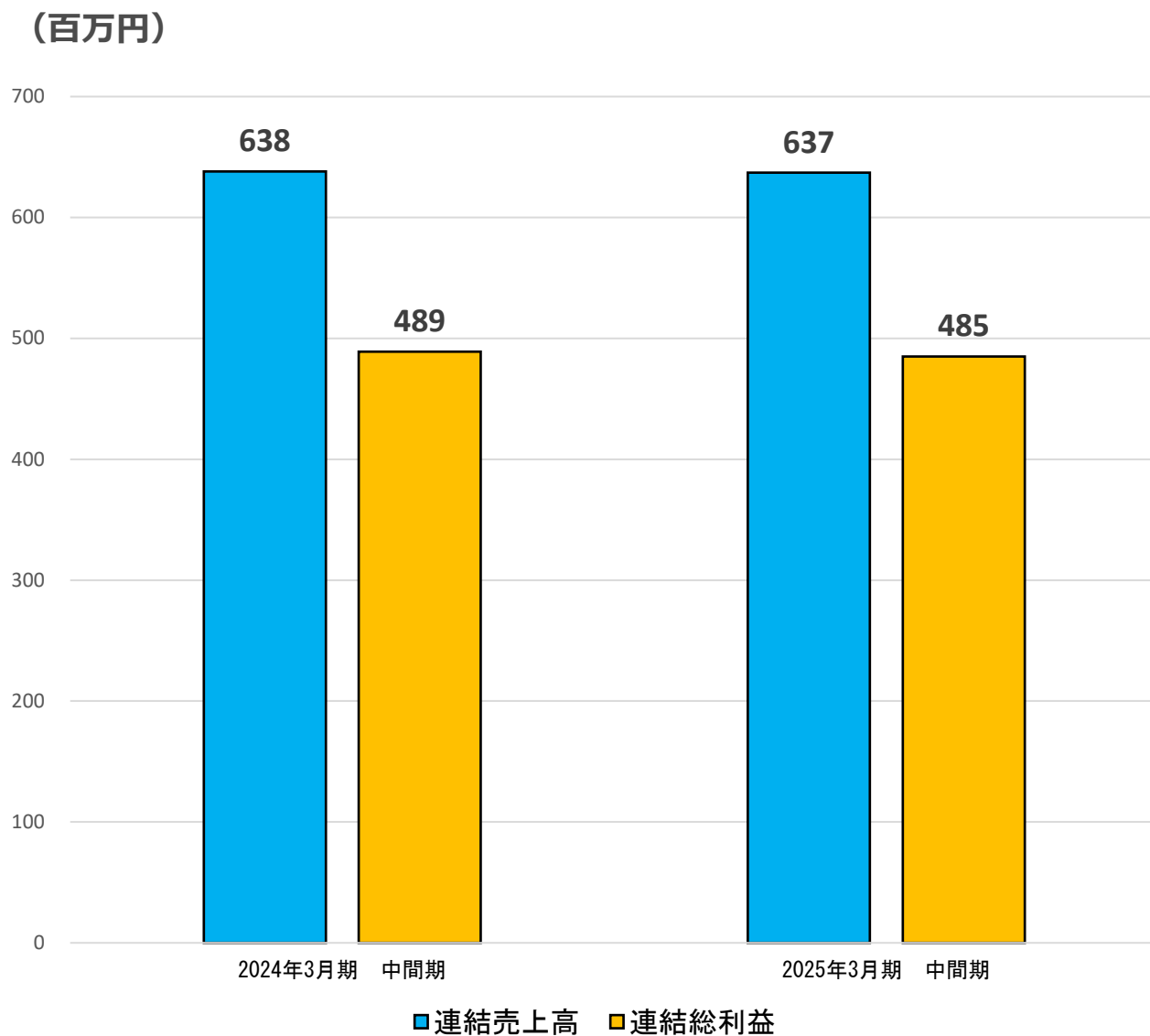
前期比

8.2%減収

8.7%減益



部門別状況－アクア



<アクア>

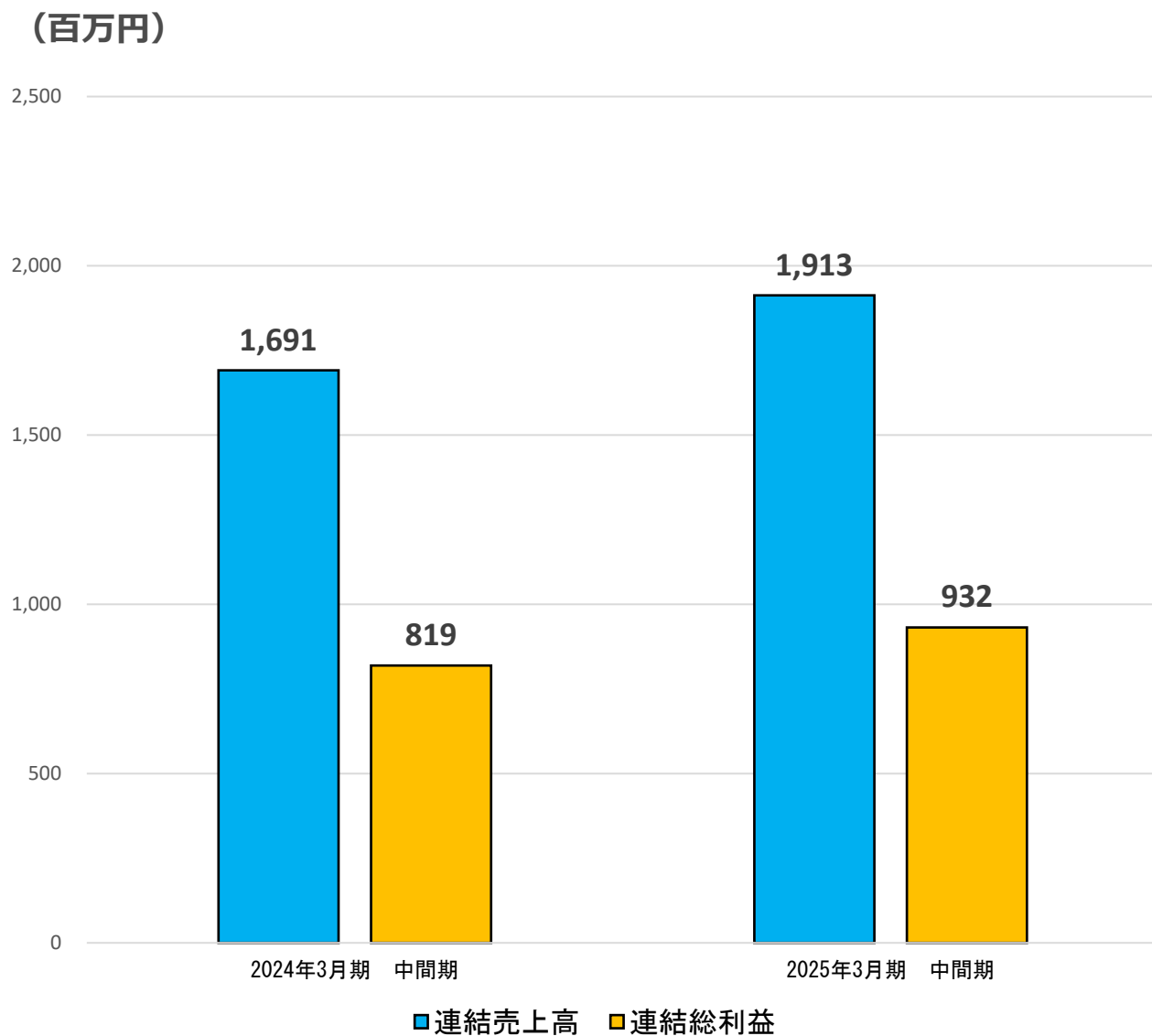
前期比

0.1%減収

0.9%減益



部門別状況－在宅医療



<在宅医療>

前期比

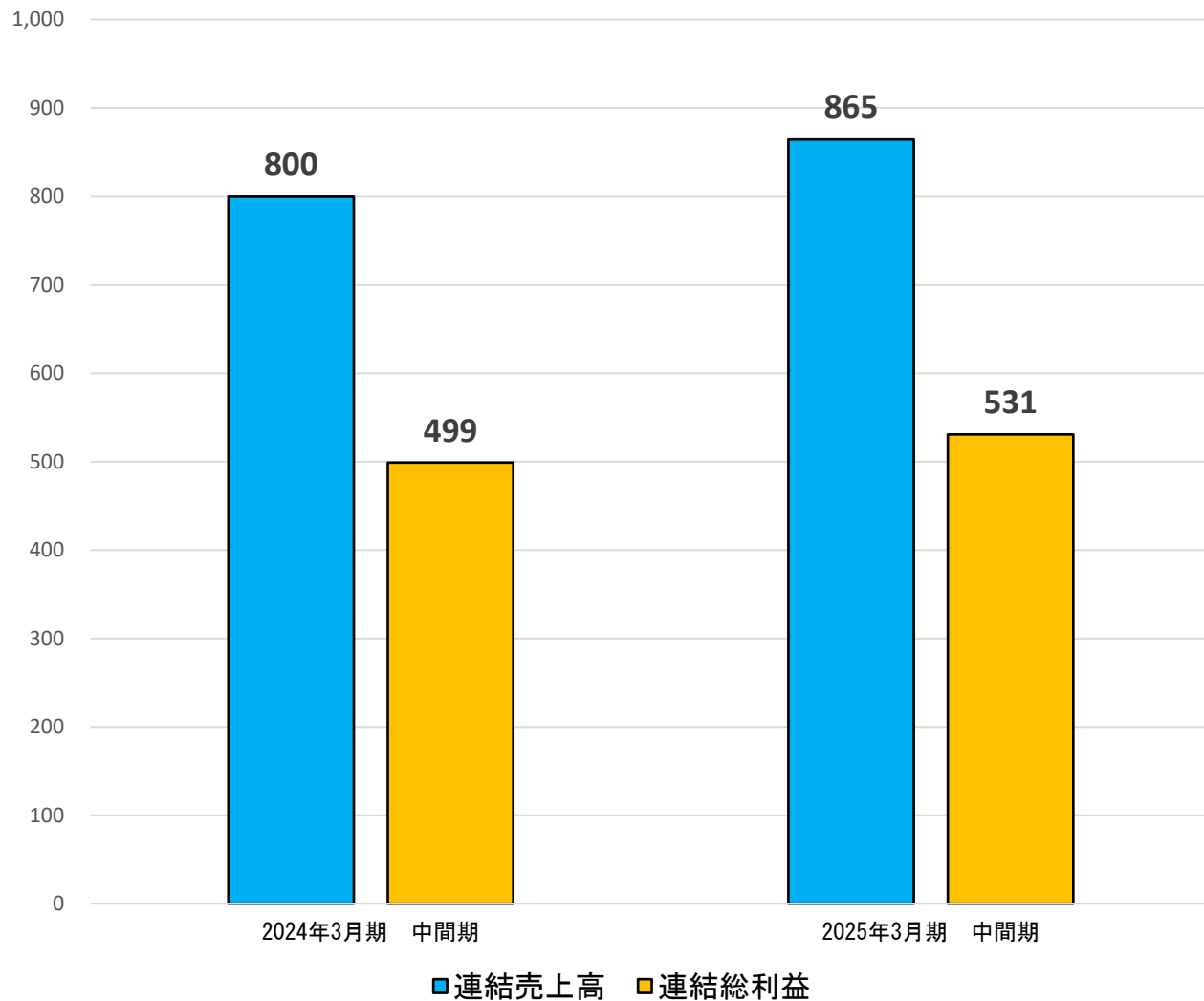
13.1%増収

13.9%増益



部門別状況－医療ガス

(百万円)



<医療ガス>

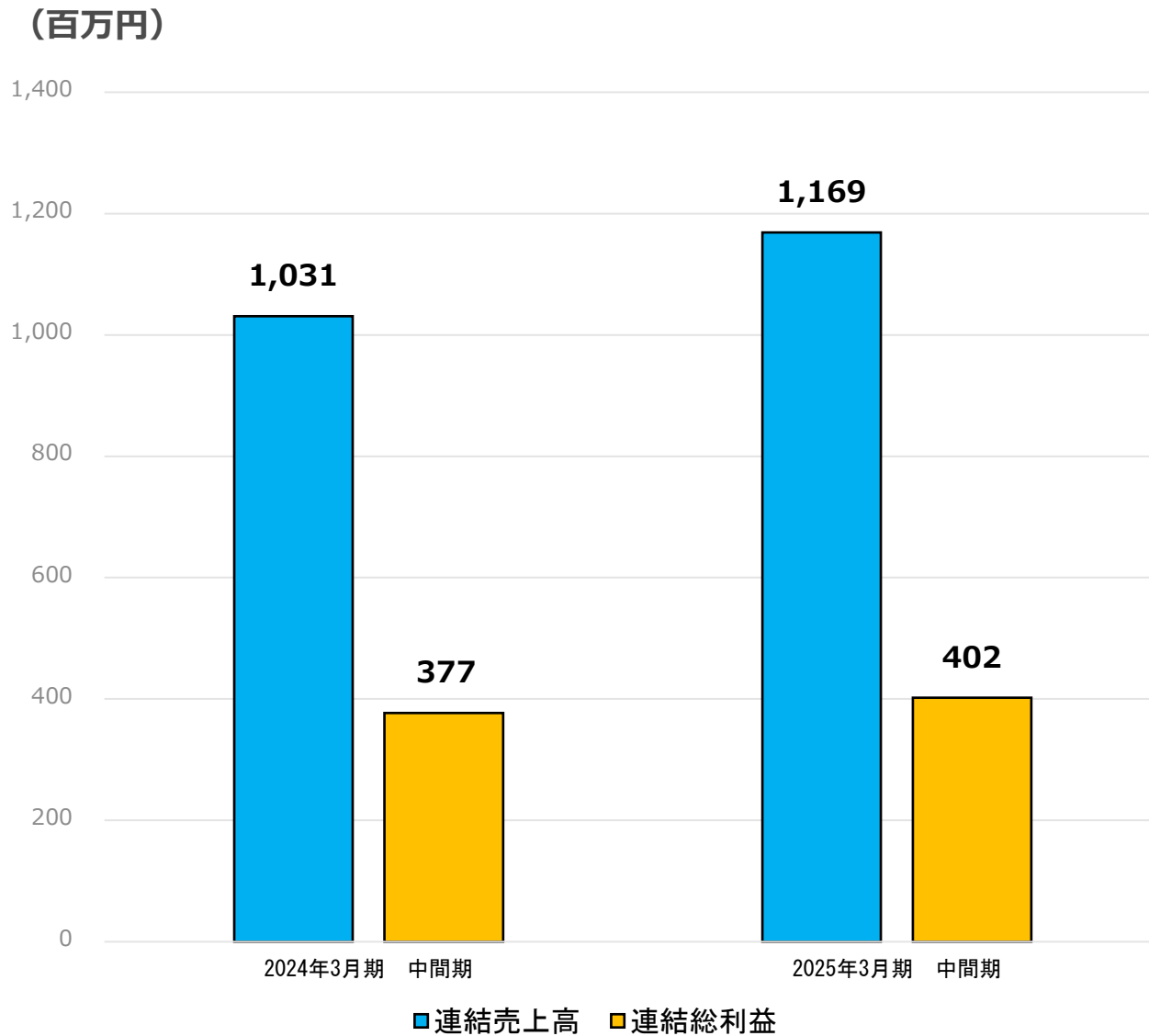
前期比

8.2%増収

6.5%増益



部門別状況－産業ガス・機材



<産業ガス・機材>

前期比

13.4%増収

6.6%増益



「グループ協働でNextステージへ」

～業務品質の可視化による安心・安全の提供～

<2025年3月期通期連結業績予想>

売上高

300億円

営業利益

13億円

主な施策と実施状況

○業務の効率化

○保安の確保

○安定供給体制の強化

滋賀支店



滋賀支店

滋賀県愛知郡愛荘町長野380

株価推移



※修正株価を使用しております。

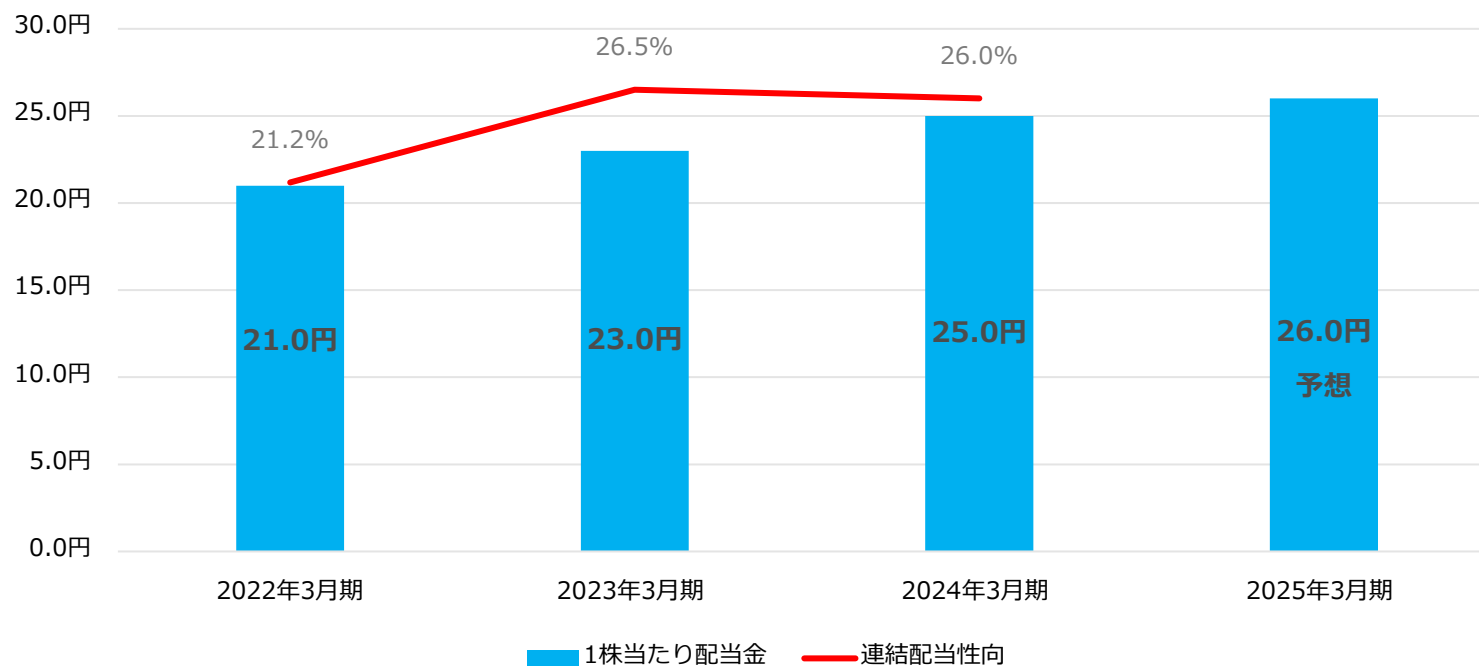
株主還元－配当金

配当の方針

- ・ 公共性の高い業種であるため、安定的な経営基盤の確立を重視
- ・ 継続、安定した配当を実施しつつ、配当性向を高めます

○配当金推移

2025年3月期は、
中間配当を13円、期末配当を13円とし、
年間26円とする予定





大丸エナウエーン株式会社

本資料に使用しました統計数値は、L Pガス業界の統計数値並びに弊社社内数値を用いています。

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ環境や弊社関係の業界動向等により変動することがございます。

従いまして、実際の業績等が、本資料に記載されている将来の見通しに関する内容と異なるリスクや不確実性がありますことをご了承願います。